

私学助成署名 全国各地でスタート!

私学助成署名のとりくみが全国各地で始まっています。スタート集会、街頭署名、私学のつどい・フェスティバルなど、全私研と同様にどれも「3年ぶり」とあって、決意の強さがうかがえます。下は広私教のニュース。8月末に実施した県学事課懇談と公私協同のスタート集会の様子です。平ゼミの高校生も参加して、大きな反響を呼んだ8月の外務省要請の報告をおこないました。

10月に入り、岩手や茨城を皮切りにつどい・フェスが開催されます。また8日からは全国父母懇・すすめる会交流集会在愛知県でおこなわれます。それぞれの県でのとりくみを経て、「私学の無償化」「私学助成大幅拡充」を私たちの手で勝ち取っていきましょう!



広私教の夏、充実! その3

■8月24日 広島県学事課との懇談会

全国私教連の山口委員長も参加し、中国ブロック5県キャラバンの一環として、学事課と懇談しました。懇談には広私教以外に、父母懇から2人、山口県からも1人が参加。「590万円の崖」の解消、経常費助成の増額、私立小中学生への支援の強化、私立通信制への補助の拡充などを要請しました。

2010年に就学支援金がスタートしたとき、広島県は「低所得世帯については、授業料だけでなく施設



2022/08/24 午後4:06:50



2022/08/24 午後4:34:47

設備費も含めて学費全体を無償にする」という画期的な制度を全国に先駆けて導入しました。今年から課長に就任した八百野さんは、そのときのメンバーです。

山口委員長は終了後「制度をよく理解している学事課長なので、今後、具体的な制度提案をしていくと良いのではないかと感想を述べました。

●写真右は広島父母懇の磯元千波会長(左)が広島県知事あて要請葉書448枚を学事課長に提出している場面 ●写真左は全国私教連の山口直之委員長(左から2人目)が要請している場面

■8月27日 秋の署名 広島スタート集会

公立私立共同で開いたスタート集会には小・中・高の教職員や父母、生徒たち約30人が参加。教育条件や教職員の働き方の実態などが報告された後、意見交流を行いました。

広私教の中西副委員長(安田)が私学の状況を報告し、父母懇の松田さんが私立通信制高校の課題を報告しました。公立からの報告で驚いたことは、少人数学級の推進という点では、広島県が全国で最も遅れている4県の一つだということ。公私ともに、教育予算の拡充が待たなしの課題であることが共有されました。



2022/08/27 午後3:35:51



2022/08/27 午後3:03:30

集会には高校生平和ゼミナール(崇徳高校)の生徒も参加して、全国の高校生が核兵器禁止条約の批准を求める高校生署名を1年間で1万筆以上集め、8月に外務省提出・要請行動を行ったことなどを報告しました。

高校生が学費について「自分が学費のかかる私学に行っていることを申し訳なく思う」と発言すると、父母懇の人が「悪いのは制度を整えない大人なのだから、そんなことを思わなくて良い」という趣旨の発言をする一幕もありました。

●写真右は父母懇の新入会員 宮田さんが発言している場面 ●写真左は高校生平和ゼミナール(崇徳高校)の生徒たちが報告している場面

「2022私学助成署名運動方針・計画」の提出・送付をお願いします。
全国の運動をすすめる上で大切な資料です。
9月末の署名集約の報告と合わせて、よろしくをお願いします。